

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。
多くの方々に集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。

皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。

第17回 八戸工業大学同窓生の集う会



●第18回八戸工業大学同窓生の集う会

日 時／平成30年10月6日(土) 18:00～
会 場／八戸グランドホテル 八戸市番町14
TEL.0178-46-1234
会 費／5,000円
締 切／平成30年9月21日(金)

参加申し込み

電子メールに参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号(ご存知の方は学籍番号もお願いします)を記載して同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)、またはそれぞれの支部申込先へお申し込みください。
同封のフリーFAX用紙でもお申込みいただけます。

●秋田支部総会のご案内

日 時／平成30年10月20日(土) 18:00～
会 場／協働大町ビル 秋田市大町三丁目2-44
TEL.018-863-2111
会 費／5,000円
申込先／m-kikuchi@akita-sousin.or.jp
(秋田支部幹事長 菊地雅敏 宛)
締 切／平成30年10月12日(金)

●関東支部総会のご案内

日 時／平成30年9月1日(土) 17:00～
会 場／アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北4-2-25
会 費／6,000円
2017年度～2015年度卒業生および女性に割引
申込先／t.hirasawa007@gmail.com
(同窓会関東支部事務局長 平澤 宛)
締 切／平成30年8月23日(木)

●東北支部総会のご案内

日 時／平成30年10月27日(土) 17:00～
会 場／ホテルレオパレス仙台
会 費／6,000円
新卒は半額の3,000円
申込先／s.narasaka@eco-ls.co.jp
(同窓会関東支部長 奈良坂 宛)
締 切／平成30年10月20日(土)

●北海道支部総会のご案内

日 時／平成30年7月28日(土) 18:00～
会 場／札幌ガーデンパレス
会 費／6,000円
申込先／t.kida@k-plan-hok.co.jp
(同窓会本部事務局長 木田年彦 宛)
締 切／平成30年7月21日(土)

●北海道支部道南部会総会

日 時／平成30年9月22日(土) 18:30～
会 場／活魚海鮮料理・季節一品料理「よし庵」
函館亀田町17-22
会 費／5,000円
申込先／h-yamamoto@yk-teito.co.jp
(同窓会本部事務局長 山本浩道 宛)
締 切／平成30年9月15日(土)

●北海道支部道東分会総会

日 時／平成31年3月予定
詳細が決定次第同窓会HPでお知らせします

※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。

詳しくは同窓会HP(<https://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください。

未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。

※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)でも受け付けます。

HIT Alumni Association Journal 八戸工業大学 同窓会報

第24号

8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局

TEL.0178-25-8027

FAX.0178-25-3827

印刷・編集 同窓会事務局

HAMS(メールマガジン)会員 登録のご案内

登録手順①〈仮登録〉

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順②〈本登録〉

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成29年度4月1日～平成30年3月31日

事業報告

本部

月 日	事業内容
平成29年 6月17日(土)	第1回理事会・定例代議員会
平成29年10月 7日(土)	第17回同窓生の集う会
平成30年 3月20日(土)	学位記授与式
平成30年 3月20日(土)	理事会

支部

月 日	事業内容
平成29年 7月28日(土)	北海道支部総会
平成29年 9月 2日(土)	関東支部総会
平成29年 9月23日(土)	北海道道南部会総会
平成30年10月21日(土)	秋田支部総会
平成30年10月21日(土)	東北支部総会

分会

月 日	事業内容
平成29年 4月19日(水)	【水交会】水交会賞表彰式
平成29年 5月10日(水)	【うみねこ会】役員会
平成29年 6月10日(土)	【蒼峰会】役員会
平成29年 7月 8日(土)	【学匠会】幹事会
平成29年 8月26日(土)	【学匠会】役員会
平成29年 9月16日(土)	【水交会】役員会
平成29年 9月16日(土)	【うみねこ会】役員会・幹事会・懇親会
平成29年10月 7日(土)	【水交会】水交会総会・懇親会
平成29年12月26日(火)	【感性デザイン】幹事会
平成30年 1月22日(月)	【土木建築】熊谷浩二先生 最終講義・囲む会
平成30年 2月24日(土)	【水交会】根城安伯教授を囲む会
平成30年 3月20日(火)	【蒼峰会】【水交会】【土木建築】 【学匠会】【うみねこ会】【感性】 手交式へ派遣

決算報告

一般会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	4,900,000	5,040,000	140,000
会報協力費	600,000	507,510	▲92,490
広告収入	180,000	30,000	▲150,000
雑収入	3,793	3,866	73
前年度繰越金	9,726,207	9,726,207	0
計	15,410,000	15,307,583	▲102,417

支出の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	200,000	160,849	39,151
旅費交通費	1,100,000	1,279,770	▲179,770
集う会経費	300,000	176,741	123,259
印刷費	2,900,000	2,733,985	166,015
通信費	50,000	30,226	19,774
支部関係	1,350,000	1,030,382	319,618
運営費関係	10,000	1,404	8,596
分会助成費関係	1,200,000	536,858	663,142
業務委託費	86,400	64,800	21,600
積立金	0	0	0
慶弔費関係	200,000	233,321	▲33,321
記念事業支援費	0	0	0
予備費	113,600	0	113,600
次年度活動費	7,900,000	9,059,247	▲1,159,247
計	15,410,000	15,307,583	102,417

次年度繰越金 9,059,247

特別会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	2,000,000	2,000,000	0
計	2,000,000	2,000,000	0

平成29年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。
平成30年 6月15日 監事 夏堀 大司
監事 左館 直樹



美和電気工業株式会社
CONCEPT
ENGINEERING

八戸営業所
〒039-2245 青森県八戸市北
インター工業団地1丁目1-44
TEL:0178-20-4303
FAX:0178-20-4230

一般社団法人 東北電気管理技術者協会所属

阿部電気管理事務所

電気管理技術者 **阿部 恭也**

〒039-1519 青森県三戸郡五戸町字天満15-5
Tel.0178-62-7328

地域の発展に貢献する

東北システム株式会社

本社
〒036-8061 青森県弘前市大字神田一丁目2-14
TEL.0172-32-5504 FAX.0172-32-9822

八戸営業所
〒031-0071 青森県八戸市沼館一丁目15-3
TEL.0178-43-9236 FAX.0172-44-7629

平成三十年度 定例代議員会開催

八戸工業大学同窓会定例代議員会が六月二十三日（土）16時から八戸グランドホテルで開催されました。昨年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

議案

【第一号議案】

平成二十九年同窓会事業報告

及び決算に関する件

【第二号議案】

平成三十年度同窓会事業計画

及び予算に関する件

【第三号議案】

第十八回「八戸工業大学同窓生の集う会」について

【その他】

八戸工業大学同窓会表彰について

同窓会事務局業務について

この場で、本年度の全学同窓生の集う会を十月六日(土)八戸グランドホテルで開催することが了承されました。

また昨今の少子化の影響を受け、大学入学者も減少していることから、同窓会として大学存続のために協力できることを検討していく、大学および同窓会の発展につながる活動をしていくために、役員が今以上に連絡を取り合って活動方針を明確に作り上げていくことが確認されました。

母校の発展に貢献する同窓会

八戸工業大学 同窓会会長 福士信雄

同窓会会長を務めております福士信雄です。

全国各地の同窓の皆様には益々ご壮健で活躍のことと拝察いたします。本会の活動につきましては、常々格段のご協力いただき深く感謝申し上げます。また、母校におかれましては同窓会活動に一層のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いつもの持論なのですが、母校と卒業生の評価は正の相関関係があると考えております。八戸工業大学の評価が高まれば同窓生の評価が高まり、同窓生の評価が高まれば母校である八戸工業大学の評価が高まります。

同窓会会則第三条には「本会は会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に貢献することを目的とする。」とあり、そのための事業が第四条に記されてあります。これまで会員相互の親睦を図るために「同窓生の集う会」や各支部長、分会長のご尽力のもと、活発な支部総会や分会活動等を実施して参りました。

さらに、今年度からは第三条の後半にある「母校の発展に貢献する」活動を一層強力に進めたいと考えています。母校が発展し評価が高まれば、我々同窓生の評価も高まるものと思います。そこで、

第四条の三にある「母校の発展を助けるために必要な事項」にかかる事業を実施したいと思えます。このため、どのような事ができるのか、どのように連携すれば大学の発展を助けることができるのかを検討してまいりました。学長・理事長との懇談、入試課・学生課との話し合い等々を重ねました。その結果いくつかの新規事業を三月の理事会へ提案し認められましたので、ご紹介したいと思えます。

まず最初に、「大学案内等学生募集パンフレットの効果的な配付」があります。集う会、各支部・分会の総会等に、この送付希望を募り、入試課から郵送後、親族や職場の大学進学予定者に一言添えて手渡ししたり、職場等へ配置していただく事業です。

次に、「応援旗の寄贈」です。各支部活動の試合会場等で掲示する応援旗を寄贈したいと思えます。本当は各部に寄贈したいのですが、初年度はどの部でも使える汎用的なものにしたいと考えています。

三つ目として、「大学への組織的な情報提供」を計画したいと思います。

同窓生が勤務する各事業所等の学生募集・事業所見学・イン

ターンシップ受け入れ・卒研へ協力できる事項等々について、同窓会として情報を収集して、大学に提供できればと考えています。

今後はさらに、「広報誌の同窓会コーナー設置」、「各部から希望する同窓会の支援・協力・応援策アンケート」、「新しい学科やコースの勉強会」なども検討していく予定です。

結びに、同窓会会長としてその責任の重さに身が引き締まる思いをいたしておりますが、副会長をはじめとする役員並びに全国の支部長、各分会長各位のご協力と会員の皆様のご支援をいただき微力ではありますが、気持ち新たに、最善の努力をいたす所存ですので、今後も変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

役員名簿

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長 同窓会職員会	浅利 能之	昭和51年度	電気
副会長	齊藤 克治	平成14年度	システム情報
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成04年度	エネルギー
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事	西岡 邦夫	昭和54年度	産業機械
理事	工藤 嘉範	昭和54年度	土木
理事	古館 仁	平成10年度	機械
理事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

 **SAKURA** 夢を未来へつなぐ限りなき挑戦

ワイヤーハーネス製造・加工、表面装束、半導体組立(COB)
CO₂削減に貢献するLED照明関連商品の開発・製造・販売

八戸市新商品開拓者認定企業(LED照明)

桜総業株式会社

代表取締役社長 福士 信雄 (昭和52年3月電気工学科卒)

本社/〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4-30-16
電話: 045-585-1424(代)

国内工場・事業所/青森・白河・岡山
海外工場・事業所/香港・中国(深圳)・上海・江西

URL/ <http://www.sakura-sohgyo.co.jp>

■学科近況報告 佐藤 学

蒼峰会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度、機械工学科へ再度名称変更いたしましたことご報告申し上げます。昭和四十七年の本学開学と同時に開設された機械工学科は、平成十三年度に機械情報技術学科へ名称変更し、時代に先んじたカリキュラムを編成し、情報技術と融合した機械工学の教育内容をわかりやすく表現してまいりました。昨今では情報技術は社会インフラとして当然のように活用され極めて汎用的・常識的なものとなりました。

ロボット・電気自動車・自動運転などの先端技術へ対応するためにも、むしろ機械工学の基本に立ち返った教育・研究を行うべき時代となっております。そこで今回、機械工学科へ再度名称変更することと致しました。すでに実施している機械工学の基礎と応用を学ぶ教育内容を学科名称に反映させ、受験生や産業界に機械工学の教育研究内容を、本学科の学生には身につけることができる能力・専門性等を正確に伝えたいと考えております。

さて、学科の近況についてお知らせ致します。退職後嘱託として引き続き講義を担当頂いておりましたが、齋藤正博教授は二〇一八年三月で

大学を離れました。

杉本振一郎講師が二〇一八年四月に着任しております。二〇一七年度の卒業生は四十三名で、すべて希望の就職をし社会へ巣立っております。自動車工学コースは十年目を迎えました。整備士試験100%合格を六期連続で継続しています。二〇一八年度の新入生は四十六名でした。五月に実施した恒例の新入生オリエンテーションでは、八戸シーガルビューホテルに宿泊しました。市内の東北電力八戸火力発電所、多摩川精機八戸事業所、北日本造船豊洲工場、東京製鋼八戸工場等を見学しました。卒業生の皆さんの活躍も伺いました。機械工学科教職員一同、引き続き、機械工学の技術者教育に邁進して参りたいと思います。

■新任教員のご紹介

杉本振一郎より



同窓会の皆様、四月から工学部機械工学科に着任いたしました杉本振一郎と申します。出身は瀬戸内海に面した温暖な愛媛県で、学生時代八年間を玄界灘に面した福岡県で過ごし、その後、東京、長野で大学に勤めていましたが、今回初めて東北に移り住むこととなりました。海に近い場所です生まれ育ちましたので、新鮮な海の幸がなかなか手に入らない長野から漁港のある八戸に移つてうれしく思っています。また東北は

おいしいお酒も多いので、引越す前から楽しみにしていました。私の専門はコンピュータシミュレーションです。特にスーパーコンピュータを用いた大規模なシミュレーションをいかにうまく行うかをテーマにしています。サークル活動や町のお祭りから国や企業の巨大プロジェクトまで、複数の人が集まって一つの事を成そうとする機会が多いですが、集まる人が増えれば増えるほどそれを適切にとりまとめて効率よく事を運ぶのは難しくなっています。それはスーパーコンピュータでも同じです。今のスーパーコンピュータは小さなコンピュータの集まりです。それが数万台、数百万集まって一台のスーパーコンピュータを形成しています。そんなたくさんの小さなコンピュータをいかにうまく連携させて大きなシミュレーションを成功させるか、またその技術をいかにして産業に応用するか、そんな研究をしています。また研究者としての第一歩を踏み出してから、CAE教育にも力を注いできました。CAEはコンピュータシミュレーションを製品設計に活かす技術です。CAEを導入することでより少ないリソースで製品開発が行えるようになります。これまで資金的、人的リソースの不足から製品を自社開発できなかった中小企業でも製品開発が可能になればと、講義や実習を通じてCAEの技術を伝えたり、資格の取得を支援する講習を開催したりし

てきました。八戸でも、私の知識・技術を産業の活性化に活かし、皆様とともに成長していきたいと願っております。



和 田 諭
昭和五十四年度
機械工学科卒業
本学非常勤講師

大学を卒業して三十八年になります。卒業後は八戸聾学校を初任校として、十和田工業高校電子機械科、八戸工業高校定時制機械科、その後全日制機械科に十三年勤め、教頭として南部工業高校の閉校に立ち会い、最後に八戸工業高校定時制教頭として三年勤めて定年退職となり、四月から現職となっております。ご縁に恵まれ、母校の若い学生たちと充実した日々を送っております。

さて、今回、昭和五十四年度卒業の機械工学科及び産業機械工学科の同期会を企画しました。発起人の西岡邦夫君・千葉兼喜君と共に左記のとおりご案内申し上げますので、たくさんのご参加をお願いします。

☆同期生の集う会開催のご案内

月日が経つのは早いもので、昭和五十五年三月に母校八戸工業大学を卒業した多くの同期生は今年還暦を迎えました。「有志の会」が中心となり卒業後、初の同期会の詳細が決まりましたのでご報告申し上げます。同期生が一堂に会し親睦を深める機会となれるよう、多くの皆様

のご参加をお願い申し上げます。なお「同窓生の集う会」と同時開催です。

日 時／平成三十年十月六日(土)
(時刻は予定)

受 付／十五時〜 会場にて
御祈禱／十六時三〇分

事前申込者のみ
集合写真／十七時

同窓生参加者全員
宴会／十八時三〇分

同窓生の集う会
会場／八戸グランドホテル

電話／0178-4611234
会 費／宴会五、〇〇〇円(同窓会)、
二次会、集合写真、
還暦御祈禱、他雑費。
合計二、〇〇〇円
宿泊／各自手配願います。

詳細は大学HPに掲載中。

同窓会⇒蒼峰会を見てください。
【有志の会事務局】

機械科卒窓口 千葉兼喜(小玉) Yuusinokai.chiba@gmail.com
産業機械科卒窓口 和田 諭 Yuusinokai.wada@gmail.com

メールをいただければ、案内・申込書を返信します。
還暦の御祈禱希望者は、人数の確認が必要です、
必ず、事前申し込みをお願いします。
メール環境不備の方、及びその他の問い合わせは
和田(090-4041-3776)まで。

水交会活動報告

■学科近況報告

大学院工学研究科
電子電気・情報工学専攻主任
工学部電気電子工学科長

関 秀廣 先生

本学科では、今年度「電気電子システム学科」から、「電気電子工学科」に名称変更し、カリキュラムの変更など内容を一新して臨みます。折しも三名の女子学生が新人生となり、この分野の男女参画に弾みがついたところで、今年三月卒業生の就職も好調が続いており、東証一部上場企業に内定した学生は約四割を占め、他も一流企業や地元優良企業に内定を戴きました。社会変革を推進する先端分野を担う人材が増えることは頼もしい限りです。さて、根城先生には四十年間御奉職いただきこの度御退職されました。名誉教授の称号を得られ益々地域貢献活動に取り組みたいと願っています。本学科では今後も教職共同で諸改革を進め、学科の魅力作りに努めてまいります。水交会の皆様には今後尚一層のご支援をお願い致します。

■平成三十年度水交会総会開催のご案内

平成三十年十月六日(土)十六時三十分より、八戸グランドホテルにて「平成三十年度水交会総会」を開催します。また、総会終了後には全学卒業生を対象とした「第十八回八戸工業大学同窓生の集う会」が開催されます。ご参加される際は、九月二十四日(月)までにお申し込み下さい。お申込方法などは、水交会ウェブサイトにてご確認ください。
<http://www.elec.hi-tech.ac.jp/edso/>

■同窓生に贈る言葉 名誉教授 根城 安伯 先生 (平成三十年三月退職)



昭和三十二年四月に八戸工業大学に着任して以来、

退任するまでの長い間、水交会・学科教職員・学生の方々には、多方面にわたる大変お世話になりました。皆様のご協力とご助力を得て無事に勤務を完了することができました。心から感謝申し上げます。

石油ショックの覚めやらぬ当時から今日までの間、本学の教育方針や大学活性化対策、さらには学部改組、募集活動などの活動の中での教育研究活動、業務遂行、社会貢献活動を振り返るとき、一言では言い表せない感慨を覚えました。私は当初、一般教育部に所属しましたが、電気電子工学科へ移籍した契機は、電気電子工学科のためでした。それ以来、研究室に受け入れた二百数十名の卒業研究生が卒業し、三十数名の大学院生が修了しました。本学に奉職後、大半の時間を電気工学科とともに歩んできたことになりました。私の研究室に初めて受け入れた大学院生は旧エネルギー工学科卒業の社会人でしたが、本学大学院においても初めての社会人大学院生でした。本人は現在、イギリスの企業で精力的に仕事をしています。学部・大学院を通して多くの卒業生・修了生が、今では企業や公務員の中堅または指導的な立場で活躍しています。彼らが組織のリーダーとして精力的に働いている姿を見ることは、微笑ましくも嬉しいことです。

電気電子工学科ばかりでなく、卒業生の活躍と教職員の強い連携は大学の発展を築く礎となつています。この絆は、電気電子工学科においては水交会を中心とした組織があり

り、大変心強い実績があります。若い卒業生の参加者が増えれば今後もゆるぎない絆を形成していくことができるでしょう。情報公開や国際化の波が浸透してきた現在、企業はもろろんのこと大学も大きな変化の波に曝されています。波を乗り越えるためにはチャレンジすることが必要ですが、それに加えて独自の個性を打ち出すことが望まれます。電気電子工学科および水交会の皆様のパワーを結集し、未来を拓かれることを期待して皆様に送る言葉といたします。

■OB・OGだより

菊地 圭 さん
平成二十年 大学院博士前期課程電気電子工学専攻修了(根城研究室)
現在/アルパインマニユファクチャリング株式会社



私は学生時代からモノづくりと携わりたいて考えており、福島県のカトーデリオの製造メーカーに就職しました。入社一年目は製造技術部に配属となり、新製品の製造ラインの立ち上げ業務に携わっておりました。入社七年目からはアルパイン(株)の開発購買部へと出向となり、いかに品質の良い部品を安く、安定して供給してもらうか、部品メーカーと交渉を続ける日々です。仕事の成果が会社の業績に直結する部門なので、プレッシャーはありますが、やりがいを感じています。最近、社内外ともに英語でのコミュニケーションが必要なる場面が多く、苦勞しております。根城研究室では学会発表などで学外発表する機会を多く与えて頂き、ロジカルにわかりやすく相手に言いいたことを伝えることの大切さ、難しさを学びました。研究室での経験が、今も仕事に取り組みむ上での軸となつています。講義「研究で得た知識が、就職後に直接活かせるケースは少ないか」と思いますが、その取り組み過程や努力、考え方などは必ず役に立つと実感しています。

■同窓生としての抱負

鈴木 寛久 さん
平成三十年 電気電子システム学科卒
就職先/東北電力株式会社



原子力について学びたいと選んだ八戸工業大学、四年間はあっという間でした。私は専門知識を基礎から学び、ここで自主的な学習の習慣が身につきました。

課外活動では軟式野球部に所属し、全国大会に出場することができました。また、入学時からアルバイトに取り組み、お金を稼ぐ事の大変さを感じると同時に、社会性を高めることができました。卒業研究では根城研究室に所属し、核融合炉第一壁に使用されるベリリウムWの損耗調査と温度変化に関する研究を行いました。これまで触れられていなかった炉内の不純物堆積について取り組み、結果を出すことができました。課題解決プロセス、主体性や計画性、広い視野の大切さを改めて感じ、またそれらが研究活動を通して身につきました。卒業後も八戸工業大学で学んだことを活かして、どんな物事にも冷静かつ臨機応変に対処し、社会に貢献できる技術者になりたいです。

■水交会活動報告 根城安伯先生を囲む会

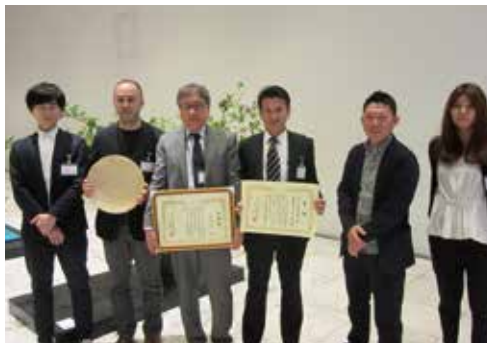
平成三十年二月二十四日(土)に八戸プラザホテルアーバンホールにて今年三月に定年退職される根城安伯先生を囲む会が開催されました。電気電子システム学科親睦会及び水交会主催で行われ、当日は三十名を超える同窓生や大学教職員の皆様方が参加され、盛会に終えることができました。

平成二十九年度「水交会賞」表彰式

平成三十年三月二十日及び四月十八日に八戸工業大学にて平成二十九年度「水交会賞」表彰式を行いました。水交会賞は、学業成績が特に優れている学生や課外活動において特に優秀な成績をおさめた学生を表彰するものであり、水交会在学生会援事業として平成二十八年度総会にて承認された制度です。平成二十九年度は九名の学生が表彰されました。

土木建築工学科 同窓会

月永洋一先生建築学会
東北支部功労者として表彰
本学OBも活躍



左から2番目:藤本氏, 3番目:月永先生, 4番目:小針氏

平成三十年五月十二日に仙台メ
ディアテークで行われた日本建築
学会東北支部総会において、本学土
木建築工学科教授の月永洋一先生
が長年の功績が認められ二〇一八
年度日本建築学会東北支部功労者
として表彰されました。また同時開
催されました第三十八回東北建築
賞表彰式では本学OBの小針智幸
氏(建築工学科十七期)と藤本嘉徳氏
(同学科十八期)が代表取締役を務め
る株式会社アトリエノルド(盛岡市)
(<http://www.a-nord.com/profile/profile.html>)が「宮古市崎山貝塚縄文
の森公園複合施設」で東北建築賞を
受賞されました。写真は東北建築賞
のプレゼンテーション風景と仙台

この空間は、東日本大震災により
亡くなられた本学OBのご尊父よ
り、建築系学生諸君の教育に役立て
てほしいとのことから寄せられた
寄付金により整備されたものです。



**土木建築工学科
自由空間「A-Café」を開設**
土木建築工学科では、建築工学専
門棟A201を改装し、自由な学び
の空間「A-Café」をアクティ
ブラーニングルームとして開設し
ました。コンセプトは「本(技術)や
アート(芸術)に囲まれた自由空間・
アクティブラーニングルーム」です。



アトリエノルド東北建築賞受賞記念プレゼンテーションの様子

メディアテーク一階カフェでの懇
親会で受賞された月永先生とアト
リエノルドを撮影した写真です。

平成29年度 受賞・助成

■佐々木幹夫／功績賞

(雪氷学会平成二十九年度東北雪氷賞功績賞) 2017-5-12岩手県立大学アイーナキャンパス

■迫井裕樹／Best paper award受賞

主催／ACE (Asia Concrete Federation)

シンポジウム名／The 8th Asia Pacific Young Researchers & Graduates Symposium (YRGS 2017)

期間／2017年9月7日～8日場所／東京

受賞論文タイトル／Fire Damage Assessment of Concrete Using Air Permeability

■塩井幸武・熊谷浩二・佐々木幹夫・長谷川明／土木学会東北支部功労賞

■福士憲一／青森県循環型社会形成推進功労者表彰として「地域環境保全功労者」を受賞

■長谷川明／第七回ものづくり日本大賞(東北経済産業局所管)において「東北経済産業局長賞」を受賞

■小藤一樹／企業プロモーション・ツール制作発表会優秀賞

■小藤一樹／環境・設備デザイン賞(環境デザイン部門BE賞)

■小藤一樹／平成二十九年度 デマンドサイドマネジメント表彰(一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞)

■八戸工業大学教育賞教 育業績賞団体賞

対象のタイトル名 産官学連携による土木系デザイン教育プログラムの開発と継続的改善
(金子賢治・熊谷浩二・佐々木幹夫・阿波稔・橋詰豊・竹内貴弘・鈴木拓也・迫井裕樹・高瀬慎介)

●土木建築工学科ホームページには、イベント情報(第十回青森土木フォーラム)、

Topics、Civil and Architecture News新聞記事で見る土木建築工学科などが掲載されていますので、是非、立ち寄って頂ければ幸いです。

URLは次の通りです。<http://www.cea.hi-tech.ac.jp/>

●土木建築工学科同窓会へのご意見、ご要望は先までお願いします。

土木建築工学科同窓会事務局 橋詰・関川(Mail) dosokai-c@hi-tech.ac.jp

学匠会活動報告

生命環境科学科 学科長就任のご挨拶



鶴田 猛彦

学匠会の皆様、今年度から生命環境科学科の学科長になりました

鶴田猛彦です。生命科学、環境科学を含む科学好きの学生に入学してもらい教育研究を通じて社会人として送り出していきたいと考えての学科名称変更です。先輩方にはこれまで折に触れ本学科へのご指導、ご鞭撻を頂いていただいておりますが、今後ともよろしくお願いいたします。

本学科は昭和五十七年(私は当時大学院一年生)にエネルギー関連の設備・プラント技術の専門家を養成を目指したエネルギー工学科としてスタートし、平成十四年には生物系・環境系に配慮した化学工学科としての生物環境化学工学科に改組されました。さらに、平成二十一年度からは食品衛生管理資格の養成施設の認定を受けたバイオ環境工学科となり、本年度から、自然科学を前面に押し出した生命環境科学科となりました。

私は、平成十九年に生物環境化学工学科に准教授として赴任いたしました。もともとこの専門は有機化学で、その後、微生物を利用する環境浄化の研究を行っていたことから微

生物の専門家として採用されました。その後、年々、生物系教員が増えってきましたので、現在は微生物を扱っておりますが、化学系の教員として認識されていると思います。現代生物学の基礎として化学の理解は大変重要であり、本学科では生命科学と環境科学とともに学び、この両面に秀でた技術者を養成してまいります。

これまで、エネルギー工学科から生物環境科学工学科、バイオ環境工学科、そして生命環境科学科と学科は時代とともに変わってきましたが、それに合わせて学匠会の皆様もそれぞれの学科の卒業生が融合しました。今後共折に触れて先輩方のご活躍をお見せ頂ければ、学生たちにとって有益であると考えています。学匠会の益々の発展を祈念して、これからも全力でやってまいります。

■新任教員のご紹介 生命環境科学科 助教



卒業生の皆様、この四月から生命環境科学科に着任いたしました。片山と申します。

出身は静岡県ですが、県立広島大学へ入学後、博士課程修了まで九年間広島に住んでいました。大学生活を通じて研究の面白さに目覚め、尊敬する先生に出会えたことが大学教員の道に進むきっかけとなりました。

した。そしてこの度、八戸工業大学の教育活動に携わることになり、とてもうれしく思います。研究面においては、学部・修士課程では、電気化学的手法を用いたインフルエンザウィルスの高感度検出法の開発を行っていました。博士課程では、ダイオキシン類やポリ塩化ビフェニルなどが代表される残留性有機汚染物質の化学的分解法の開発を行っていました。八戸市は、漁業や工業をはじめ産業が発展しています。自身の研究が、八戸工業大学や八戸の産業の発展に貢献できるよう、これからも精進してまいりたいと思います。また、基礎教育センターも併任しており、基礎化学を担当しています。

生命環境科学科にとって、基礎化学はすべての科目の土台となる科目です。学生の学びの土台となる科目でも無くし、専門科目や卒業研究に役立てるよう手助けをしたいと思っています。そして、大学生活を通じて地域社会の活性化に資する人材になれるよう、研究を通じて教育できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■新任教員のご紹介 生命環境科学科 講師



本 田 洋 之

四月に着任

した本田洋之(ほんだひろゆき)と申します。出身は宮城県仙台市です。大学卒業後十一年間、食品会社の研究部門・技術部門で勤

務してまいりました。専門は乳酸菌の糖質代謝酵素です。これまで、ヒトの健康に役立つ「プロバイオティクス」と呼ばれる乳酸菌の探索や、乳酸菌の発酵技術の研究、設備メーカーと共同での乳酸菌の乾燥・粉末化技術の開発、自社工場への新規発酵技術・設備の導入などを行ってまいりました。このように、基礎研究から技術開発、生産現場まで幅広い業務を経験しました。

私は、これまでの業務で、学会や研究成果発表会でのプレゼンテーションや、同僚・後輩に対して研究のアドバイスをしてきた経験の中で、いつか何らかの形で教育に関わりたいという希望を持っていました。相手に理解してもらおうことの難しさを感じながらも知識を身に付けてもらったり、ディスカッションをして役に立つことにやりがいを感じていました。また、二〇一一年の東日本大震災以降、地元の東北のために自分に何ができるのかと考えており、女川の放課後学校への寄付などの復興支援を、地元から離れた地に住みながらも続けてきました。しかし、実際に自分が東北に戻り、東北を元気にするために微力ながらも役に立ちたいと思い、このたび八戸にて教育研究に携わることになった次第です。

学生の皆さんには、これまでの私の企業での経験を、一方通行にならないように心掛けながら伝えていきたいと考えています。地域や卒業生の皆様とも積極的に連携していければと考えていますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

学匠会単独同窓会開催のご案内

このほど、学匠会による単独同窓会を開催することとなりました。この会には卒業生はもとより、退職された教職員もお呼びする予定で、現在準備を進めております。なお詳細が決まり次第、ハガキおよび学匠会HPにてご案内いたしますので、宜しくご参加くださるようお願いいたします。

日時/2019年6月22日(土)19:00より
場 所/八戸グランドホテル
お問い合わせ:dosokai-p(ピー)
@hi-tech.ac.jp(学匠会事務局)



株式会社ザックス
http://www.zax.co.jp

理化学機器、放射線関連製品、試薬、
エアフィルター、計量証明、化学工場
及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所/八戸市長根4丁目17-7
tel:0178-73-3620

統括本社:東通村 本社:六ヶ所村
事業所:弘前、青森、大間、八戸

(株)アムテックス・安全自動車(株) 指定サービス工場
(株)イヤサカ サービス協力工場

自動車整備用機械工具及び検査機器 修理・保守
一般社団法人 日本自動車機械工具協会
車検機器点検資格・リフト点検資格 認定

藤澤こうぐ店

代 表 藤澤 崇司

(平成8年度 エネルギー工学科卒)
〒062-0911 北海道札幌市豊平区旭町3丁目5-41
TEL/FAX.011-376-1212



■学科ニュース① 教員紹介 岩崎 真梨子 講師



皆さんこんにちは。創生デザイン(旧感性デザイン)学科から異動してきました、岩崎

コースでは、サーバを含むネットワークやクラウドの設計・構築・管理・運用および情報セキュリティ技術や情報セキュリティエンジニアを学び、ネットワークエンジニアや情報セキュリティスペシャリストを目指します。

です。八戸工業大学に勤めて七年目になります。専門は日本語学・日本語史で、日本語の文法体系や意味用法の変遷を、昔(奈良時代頃)から現代にかけて分析するというものです。まるで外国語のようにも感じられる古典から、現代の日本語になった経緯について、講義などで簡単かつ楽しく説明したいと考えています。実は、岡山県の高専で非常勤講師として情報システム系クラスを担当したことがあり、システム情報工学科にはちよつとした既視感があります。高専では専門分野について学ぶ機会がなかったので、皆さんに教えていただいで勉強できればと思っています。

■学科ニュース② ネットワーク・セキュリティコース開設

平成三十年度より、システム情報工学科に「ネットワーク・セキュリティコース」が開設されました。この

■学科ニュース③ あおもりオープンデータ 活用推進フォーラム2018 で表彰

平成三十年三月十九日にワ・ラッセで開催された「あおもりオープンデータ活用推進フォーラム2018」で表彰されました。青森県、あおもり官民データ活用推進コンソーシアム、特定非営利活動法人地域情報化モデル研究会において、八戸工業大学が「普及啓発貢献部門」で表彰されました。表彰理由は、インターナショナル・オープンデータ・デイの開催(八戸市のIT企業・株式会社アイティ



コワークとの連携、青森県オープンデータ利活用人材育成事業への学生の参加、システム情報工学科小久保教授によるあおもり官民データ活用推進コンソーシアムのデータ活用アドバイザー活動によるものです。これらの活動には、学生の貢献が大きく、特に平成三十年三月に卒業した助川友太君、滝沢健太君の二人の功績(Androidアプリの開発と公開および広報、今年度の青森県オープンデータ利活用人材育成事業のサポート)が著しかったです。今回は、この二人がフォーラムに参加し表彰されました。

■OB・OG近況報告 秋元 聡美さん (平成二十年度卒業 ノーザンライツ株式会社)

現在私は八戸市にある「ノーザンライツ株式会社」でリサーチ部署に所属し、大学で学んだHTMLを利用してアンケート画面作成業務を

行っています。作成したアンケートにお客様の要望が反映されているか、回答してくれる人が回答しやすいか、システムの対応が可能なのか、思い込みだけで作業せず一案件一案件に向き合うことを目標としています。また最近では業務改善やルール作成、新人のOJTを任せられることもあり忙しいですが、充実した日々過ごしています。



八戸工業大学で学んだことを生かしてこれからも技術を磨いていきたいです！

■第十六回うみねこ会 開催案内

今年のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」は、「同窓生の集う会」を学園祭初日に行うため左記のように開催する予定です。毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。詳細は後日「うみねこ会Webページ」などでお知らせ致します。

開催日/平成三十年九月十五日(土)

(予定)

会場/八戸市内(予定)

参加予定教職員/武山泰、小坂谷壽一、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之、他多数

申し込み先/katsuj@hi-tech.ac.jp
(うみねこ会会長 齊藤克治)

うみねこ会URL/
<http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/>



Office Optimization

オフィス・オブティマイゼーション/オフィスの最適化
貴社の業務の本質を捉え、
オフィスの最適なカタチを提案するのが仕事です。

株式会社 金入

〒039-1121
青森県八戸市卸センター二丁目4-12
TEL 0178-28-2871 / FAX 0178-20-2764
<http://www.kaneiri.co.jp>

感性デザイン 同窓会

■学科長挨拶

高橋史朗先生より

感性デザイン学科卒業生のみならず、元気にしていますか。二〇一七年度から学科長をしている高橋史朗です。

感性デザイン学科が誕生したのは二〇〇五年四月。この春は十回生を送り出すことができました。みなさんのご理解とご支援の賜物と深く感謝しています。そこでこれを契機に同窓生のみなさんといういろいろな形で懇親を深めたいと考えています。社会に出てしまうと、同級生ともなかなか会えないのですよね。なるべくみなさんが、気軽に出席できる催しを、感性デザイン学科で少しデザインしてみたいと思います。懐かしい顔を見ながら、楽しく集う機会にします。ぜひ出席を検討してください！



巨大ソフトクリームをほおばる史朗学科長！

■新任教員のご紹介

高屋喜久子先生より

はじめまして。四月より感性デザイン学部・創生デザイン学科に着任しました高屋喜久子（たかやきくこ）です。ビジュアルデザイン、プロダクトデザインを専門分野として、ビジュアルデザイン論、タイポグラフィ論、ビジュアルデザイン演習



などの授業を担当しています。

金沢美術工芸大学でデザインを学び、長野県のセイコーエプソン株式会社にて腕時計のデザインに携わりました。その後、京セラ株式会社

でキッチンナイフやステーションナリーの企画開発、プロダクト及びグラフィックデザインの業務を経験。石川県の金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科で教えながら、デザイン会社を営んでおりました。歴史ある八戸工業大学にご縁を戴き、幸せに思っています。

金沢から八戸までは、北陸新幹線大宮経由の東北新幹線で約五時間。車の場合は北陸自動車道から磐越自動車道経由、東北自動車道で約十一時間、この三月に一泊二日のドライブ旅行で、八戸に引越してまいりました。八戸は自然にあふれ美味しいものが一杯、人が優しくて素晴らしい中核都市であると感じています。大学、生活、地域、すべてが新鮮で心ときめく毎日。同窓生の皆様にお目にかかる機会を、楽しみにいたしております。

■後藤厚子先生より

本年度四月に着任いたしました後藤厚子と申します。岩手県出身、盛岡市と仙台市で学生時代を過ごした

後、宮崎県の南九州大学園芸学部・環境造園学部では地域社会と生活、地域交流論、生活経済論等を担当、経済発展に伴うライフスタイルの変化が食糧消費構造に与える影響や地域資源活用に基づいた地域活性化推進の動向等について実態分析に取組んでまいりました。

前職では育児休業からの復帰後、学部改組・新学部設立に関わる学内業務に携わる中で育児と仕事との



両立が困難な状況に直面しましたが、青森市への転居後も地方シンクタンクや地方独立行政法人青森県産業技術センターでの調査研究業務に従事、また、宮城学院女子大学非常勤講師、岩手大学教育推進機構での特任教員として教育活動を継続しながら、地方行政に関わる各種審議委員を務めるなど、様々な職務を経験し今日に至りました。本学では、経済学と地域学等を主に担当いたします。

地方の再生・自立に向け、そこに住む人々にとっての真の「ゆたかさ」とは何か、対話を通じて常に問いを立て、課題を共有するための協働の場づくりを進めていくことが急務であると考えております。次世代を担う学生達が主体的に学びを重ねていくため、地域の皆様との信頼関係の醸成が肝要かと存じます。卒業生の皆様には、なお一層のご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■事務局だより

学科名称が新しくなりました！
KDプラザには
作品が多数展示されています！

高橋学科長からの挨拶にもあるように、感性デザイン学科は「創生デザイン学科」と名称が新しくなりました。これまで通りのビジュアルデザインコース、リビングデザインコースに加えて、住民や行政などとの協創により課題解決の仕組みをデザインする、地域づくりコースが創設されて人材を育成しています。カリキュラムも新しくなりました。

写真は現在のKDプラザの一角です。学生達が地域とのプロジェクトで実施した「海上レストラン」で発表したものが展示されています。授業や休憩・昼食時間に最も学科で利用されている場所でしたよね。懐かしいのでは。是非とも足を運んでみてください。



退職教職員

本年三月三十一日をもって、左記の教職員の方々が退職されました。
長い間お疲れ様でした。



河内 良彰 講師
(感性デザイン学科)



小比類巻孝幸 教授
(バイオ環境工学科)



熊谷 浩二 教授
(土木建築工学科)



根城 安伯 教授
(電気電子システム学科)



早坂 昭男 工師
(機械情報技術学科)



玉川 邦夫 工師
(工作技術センター)



岩織 敬道 主事
(図書館・情報事務室)



板垣 恵美子 係長
(法人事務局 管財課)



柳谷 史子 主事
(事務部学事課)

新任教職員紹介

平成三十年年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。
今後ともよろしくお願いいたします。

- 杉本 振一郎 (機械工学科・講師)
- 本田 洋之 (生命環境科学科・講師)
- 片山 裕美 (生命環境科学科・助教)
- 高屋 喜久子 (創生デザイン科・教授)
- 後藤 厚子 (創生デザイン科・助教)
- 村元 正彦 (学務部学事課長)

同窓生減免制度等について

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象として、入学金二十五万円を全額免除し、入学にかかる経済的負担の軽減を図っています。

また、入学時に採用する「八戸工業大学特待生制度(学業・スポーツ)」や入学後の成績等により採用する「八戸工業大学奨学生制度(同)」を実施し、保護者の皆様への経済的支援を行っています。

特待生制度、奨学生制度とも年六〇万円(工学部特待生A・奨学生Aの場合)が免除となり、四年間では最大二四〇万円が免除となります。

平成三〇年度入学試験での採用実績は、学業特待生・スポーツ特待生合わせて四十四名が採用され、現在、全学で特待生・奨学生一四四名が在籍しています。

詳細につきましては、大学ホームページや大学案内パンフレット等でご確認いただき、是非、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先：入試部入試課

0120-18501276

(入試課直通フリーダイヤル)

同窓会報への広告募集について

同窓生では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で会報発行に係る経費(印刷及び発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。

そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくためにも、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

- ① 同窓会報第25号発行付月/平成31年8月中旬
 - ② 発行部数/約13,000部
 - ③ 広告規格及び金額(カラー:白黒)
 - 1) 1コマ(約6.1cm×5.0cm)/¥30,000→「¥10,000」
 - 2) 2コマ(約12.4cm×5.0cm)/¥60,000→「¥20,000」
 - 3) 3コマ(約18cm×4cm)/応相談 ※広告はページ下段部に3コマまで入れることができます。
 - ④ 申込・問合せ先/八戸工業大学同窓会本部事務局 E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp
 - ⑤ 申込期限/平成31年5月31日(金)
 - ⑥ 広告原稿提出期限/平成31年6月28日(金)
- ※広告掲載料金が上記のように変更になりました。



学校法人
八戸工業大学

八戸工業大学 八戸工業大学第一高等学校
八戸工業大学第二高等学校 さくら幼稚園

〒031-8501 八戸市大字妙字大開88-1
TEL.0178-25-3111(代)

1) 1コマ(約6.1cm×5.0cm)

八戸工業大学では、産学官連携、地域産業の貢献に係わる活動成果を表彰する「産学官連携活動表彰」を平成 27 年度より行っています。本表彰は、卒業生（学部卒業生・大学院修了生）の一層の産学官連携活動、地域の課題解決を促進することを目的とするものです。このたび、平成 30 年度の表彰候補者を募集します。自薦・他薦は問いません。皆様のご応募をお待ちしております。

個人を対象としますが、所属会社等の方との連名も可です。

- (1) 八戸工業大学地域産業貢献賞

卒業生で地域産業や社会に貢献したと認められる者、また地域産業や社会の発展に貢献する可能性が高い活動を行った者。

- (2) 八戸工業大学工業技術貢献賞

卒業生で地域の工業技術に貢献したと認められる者、また地域の発展に優れた技術を開発した者、地域の工業技術の発展に貢献する可能性が高い開発を行った者。

平成 30 年 7 月 1 日(日)～平成 30 年 9 月 28 日(金)

産学官連携活動表彰応募用紙に必要事項を記入の上、下記の応募先まで提出ください。応募用紙は八戸工業大学ホームページよりダウンロードできます。(URL)<http://www.hi-tech.ac.jp/2401alumni>
郵送(当日消印有効)、電子メール、FAXにて受け付けます。

選考結果は平成 30 年 11 月に推薦者及び応募者に文書により通知します。
表彰式は、平成 30 年 12 月に八戸工業大学で開催予定です。

八戸工業大学 社会連携学術推進室 〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開 88-1
TEL: 0178-25-8005 FAX: 0178-25-1966 E-mail: kaikaku@hi-tech.ac.jp

ご協力ありがとうございました

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

同窓会事務局の連絡先(各種連絡先としてご利用下さい)

- 本部事務局(学務部学生課)
TEL.0178-25-8027 ✉ dosokai@hi-tech.ac.jp
- 機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科(機械工学科事務局)
TEL.0178-25-8010 ✉ dosokai-m@hi-tech.ac.jp
- 電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科(電気電子工学科事務局)
TEL.0178-25-8020 ✉ dosokai-e@hi-tech.ac.jp
- 土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科・建築工学科
(土木建築工学科同窓会事務局)
TEL.0178-25-8076 ✉ dosokai-d@hi-tech.ac.jp
- エネルギー工学科・生物環境化学工学科・バイオ環境工学科(生命環境科学科事務局)
TEL.0178-25-8050 ✉ dosokai-p@hi-tech.ac.jp
- システム情報工学科(システム情報工学科事務局)
TEL.0178-25-8080 ✉ dosokai-i@hi-tech.ac.jp
- 感性デザイン学科(創生デザイン学科事務局)
TEL.0178-25-8070 ✉ dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生が
おりましたら、本部事務局まで、電話またはメール
で送付先(氏名、現住所、学籍番号または卒業年科)
を連絡するようお願い下さい。また、現住所等変更
になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡
くださるようお願いいたします。

ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見
ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子
女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必
要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付く
ださい。

同窓会事務局から

同窓会への協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金のお願いをさせていただいております。協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在、住所が判らず会報誌がお届けできない方々です。ご存知の方は、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願い下さい。

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。変更のある方は、いずれかをご利用下さい。
①フリーファックス
②QRコード(携帯電話)
③フリーダイヤル
ご協力をお願いします。

貴方の
整理番号です



携帯電話
QRコード

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒ご協力をお願いいたします。お近くの郵便局またはコンビニエンスストアをご利用下さい。

同封物の見方

お問い合わせ

☎ 0120-10-9899 (内線92) 平日10:00~17:00

📠 FAX 0120-10-9184 (24時間受付)